

Client Peanut で 画像通信

Client Peanut は Ham のインターネット通信ソフト

概要

Client Peanut は PA7LIM デイビットさんの Peanut を LW6EMN フェルナンドさんがカスタマイズしたものと理解している。基本的な機能はオリジナルの Peanut と同じなので、画像通信も可能である。以下、Windows パソコンで Client Peanut を使用した画像通信の体験を纏めた。

Shu JA3GQJ

目次

Client Peanut で使用する画像通信用ソフトとモード	2
Image controller Easy Simple は画像通信の要	2
FTP サーバーサーバーも必要	3
DigiSites (デジサイト) もあったほうが良い	3
ルームと運用モード	3
1. ソフトのダウンロード、インストール及び設定	3
2. 操作パネル	4
Monitor タグ	5
Logbook タグ	5
Alarm log タグ	6
Setting タグ	6
About タグ	7
3. サウンドカードの調整	7
4. 音声の受信	9
5. 音声の送信	11
PPT を使った送信	11
VOX を使った送信	11
6. 画像の受信	12
画像信号のサウンドカード入出力処理	13
Image Controller Easy Simple と組み合わせた画像の受信	13
EZPix 単独での画像の受信	13
MMSSTV・YONIQ 単独での画像の受信	14
7. 画像の送信	14
7-1 Controller Easy Simple と各ソフトを組み合わせた画像の送信	14
7-1-1 Vari_image_Front (モードは GMSK か msfk-U) との組み合わせ	14
7-1-2 JTDX (モード FT8) との組み合わせ	14
7-1-3 MMSSTV・YONIQ との組み合わせ	14
7-1-4 EZPix (モード GMSK) 単独の画像の送信	15
8. VOX 機能を使った画像送信	15
APPENDIX 1 ソフトのインストールと初期設定	16
APPENDIX 2 サウンドカードの調整	27
APPENDIX 3 DMR id の取得	30

Client Peanut で使用する画像通信用ソフトとモード

Client Peanut は音声による通話以外に、CQ-100 などのインターネット用会話ソフトで MSSTV の運用経験がある愛好家達がアマチュア精神を発揮して表-1 のようなモードでも画像交換の運用が出来る事を見つけた。

ソフト	モード
Vari Image Front	rtty-L, msfk-U, bpsk, GMSK
EZ Pix	GMSK (FSK-W)
MMSSTV・YONIQ	MMSSTV・YONIQ
JTDX/WSJTX	FT8 / msfk-144, Q65
JS8CALL	JS8CALL
Image controller Easy Simple	Vari Image Front、 MMSSTV・YONIQ、JTDX/ WSJTX、JS8CALL をコントロールする

表-1

Image controller Easy Simple は画像通信の要

Image controller Easy Simple は JQ1HDR 大和さんが開発したソフトで表-1 のように複数の画像通信ソフトをコントロールする画像通信の要なので次の URL の大和さんのホームページにある説明を熟読することが大切である。

<http://jq1hdr.world.cocan.jp/Instruction3/index.html>



設定画面



受信画像表示画面

Image Controller Easy Simpleと組み合わせて画像通信に使うソフト



EZ Pix と MMSSTV · YONIQ は単独でも Client Peanut と組み合わせて運用できる。

FTP サーバーサーバーも必要 → 別冊「画像通信に必要な FTP サーバーについて」
参照

DigiSites (デジサイト) もあったほうが良い → 別冊「Digi Site 使用体験記」参照

ルームと運用モード

2023/05 現在、Client Peanut には無線で言うチャンネル周波数にあたるルームがオリジナル Peanut と同じ 212 ある。そのうち表-2 の三つのルームは JQ1HDR 大和さんをはじめ画像通信愛好家がオリジナル Peanut の作者のデイビットさんに依頼して作ってもらった会話もできる画像交換専用のルームがそのまま引き継がれている。表-2 は各ルームと使用可能モードをまとめたもので、Client Peanut もオリジナル Peanut と同じく画像信号を送りながら会話ができることも魅力だ。

ルーム名	使用可能モード
IMG-QSO1	FT8, JS8CALL, msfk-144, Q65, 音声
IMG-QSO2	rtty-L, msfk-U, bpsk, GMSK (FSK-W), 音声
IMG-QSO3	MMSSTV/MMSSTV · YUNIG、音声

表-2

1. ソフトのダウンロード、インストール及び設定

巻末の APPENDIX 1 を参照してダウンロードとインストール及び初期設定を済ませる。


2. 操作パネル

操作パネルには「Main」「Monitor」「Logbook」「Alarm」「Setting」「About」6種類のタグがある（図2-1）。ソフト立ち上げ時は「Main」タグが選ばれて（開いて）いる。

Main タグ



図 2-1

- ① 地域（国）選択プルダウンメニュー（ALL を選択する）
- ② ルーム選択プルダウンメニュー（ここに IMG-QSO1, IMG-QSO2, IMG-QSO3 のルームがある）
- ③ 接続／切断ボタン（ボタンの色は接続時 = ブルーで文字は Disconnect、切断時 = 白で文字は Connect）
- ④ 接続局（ワッチ局）一覧（接続開始時間の順に表示される）
- ⑤ 送受信レベルメータ（送受信時にグリーンのバーが表示される）
- ⑥ マウスの左ボタンで操作する PTT スイッチ（色が、待機時 = 白、送信時 = 赤信号受信時 = ブルー、に変化する。）
- ⑦ 送信局一覧（UTC、コールサイン、名前、通話時間が表示される）
- ⑧ この  アイコンをクリックして仲間の局などを登録すると当該局が接続したときに接続音を鳴らす。
- ⑨ ここをクリックしたら自分が登録している QRZ.COM のページが開く。
- ⑩ コールサインの表示（ソフト起動時と送信時 = 自局のコールサイン、受信時 = 相手局のコールサイン、相手局送信後の待機中 = 相手局のコールサイン）
- ⑪ プッシュプッシュでスピーカーオン／オフ

Monitor タグ

QSO 中の局の一覧が表示されている (図 2-2)。コールサイン (黄色の帯) をクリックすると当該局の会話 (QSO) が聞こえてくる。

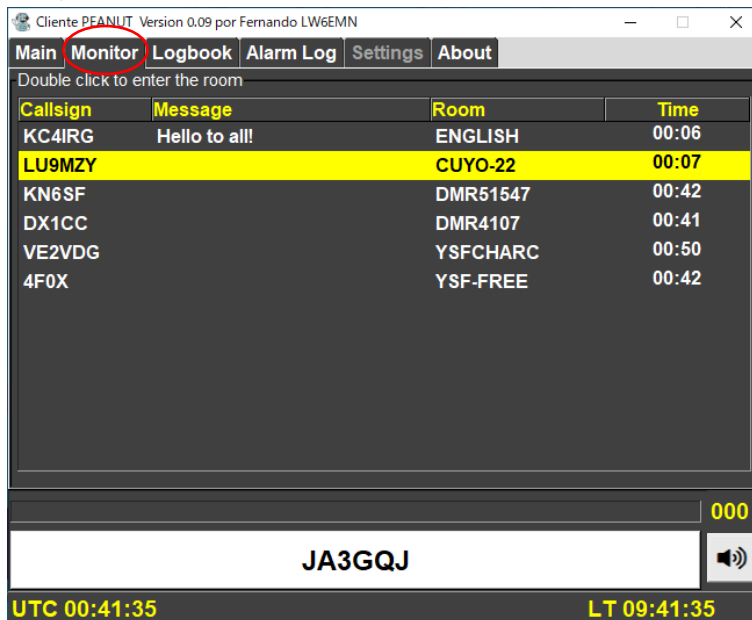


図 2-2

Logbook タグ (図 2-3) → QSO のログを作る。Main タグで大きく表示されている相手局のコールサインをクリックしてポップアップする小さな画面に Band, Frequency, Message を入力すると当該局の QSO データがここに記録される。12 ページ図 4-3 参照。



図 2-3

Add = 手入力

Edit = 編集

Remove = 削除

New = 良く分からない。

ADIF = Amateur Data Interchange Format ファイルの略でアマチュア無線の交信記録データを異なったソフトウェア間でやりとりする時に使用する統一データフォーマットファイルのことらしい。

eQSL = Logbook のデータを eQSL に送って QSL カードが発行できるらしい。

Alarm log タグ (図 2-4) → 登録した局の接続/切断を表示

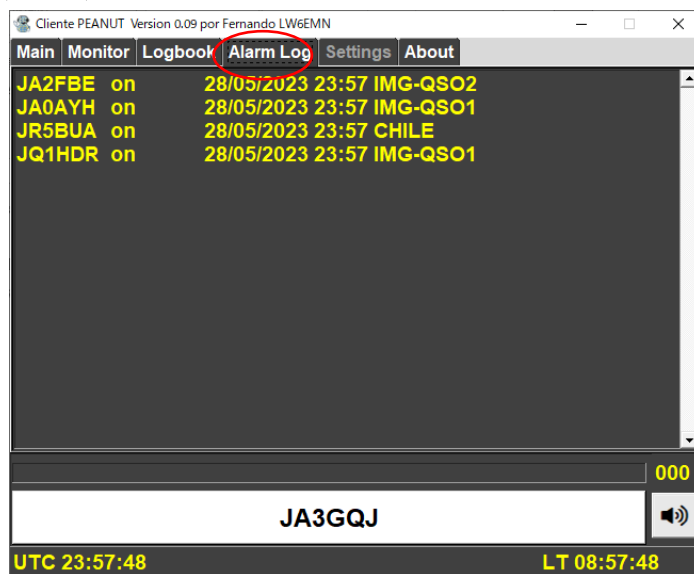


図 2-4

Setting タグ (図 2-5) → 巻末 APPENDX1 参照。



図 2-5

About タグ (図 2-6) → 次のような意味合いのことがかかかれている。

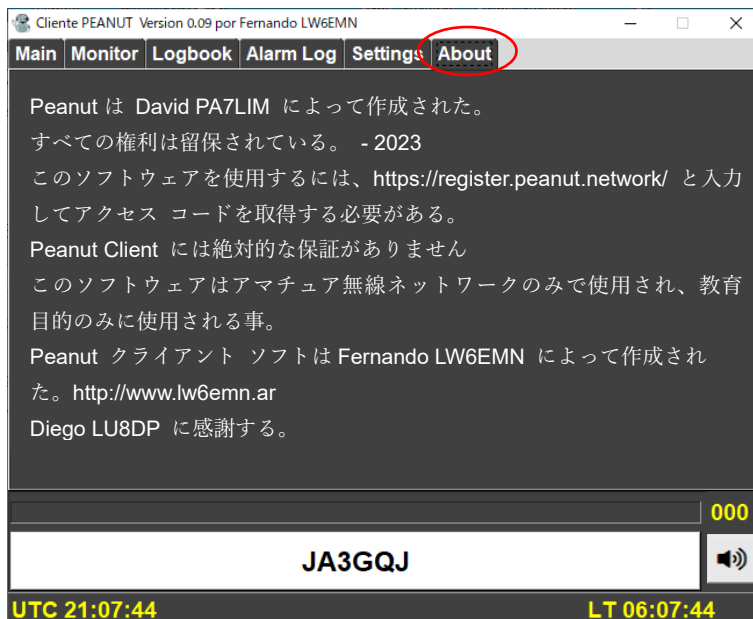


図 2-6

3. サウンドカードの調整


パソコンのマイク端子に 1,000 円前後のパソコン用マイクロホンを着着 → デスクトップの Client Peanut のアイコン  をクリック → 「ECHOECHO」ルームに自動接続してソフトが立ち上がる (図 3-1) → PTT をオン → マイクに向かって声を出す → ※1



図 3-1

※1 → PTT スイッチ（コールサインの書かれた白いバー）の上のレベルメータ（横に振れるグリーンバー）の振れが全体の 80%位（図 3-2）になるように APPENDIX2”サウンドカードの調整”を参考にしてサウンドデバイスのマイクゲインを調整する → PTT をオフ →※2



図 3-2

※2 → Client Peanut から音声（エコー）が返ってくる（図 3-3） → レベルメータ（横に振れるグリーンバー）の振れを見る → APPENDIX2”サウンドカードの調整”を参考にしてサウンドデバイスのスピーカーの音量を適度に調整する → ※3



図 3-3

※3 → エコーが消える → 調整終了 (図 3-4)



図 3-4

4. 音声の受信

「Monitor」 タグをクリック → 受信したい局のコールサインをクリック → 会話が聞こえてくる → PTT スイッチの色がブルーに変わる → PTT スイッチのバーに送信局のコールサインとルーム名が白抜きで表示される (図 4-1) → ※1

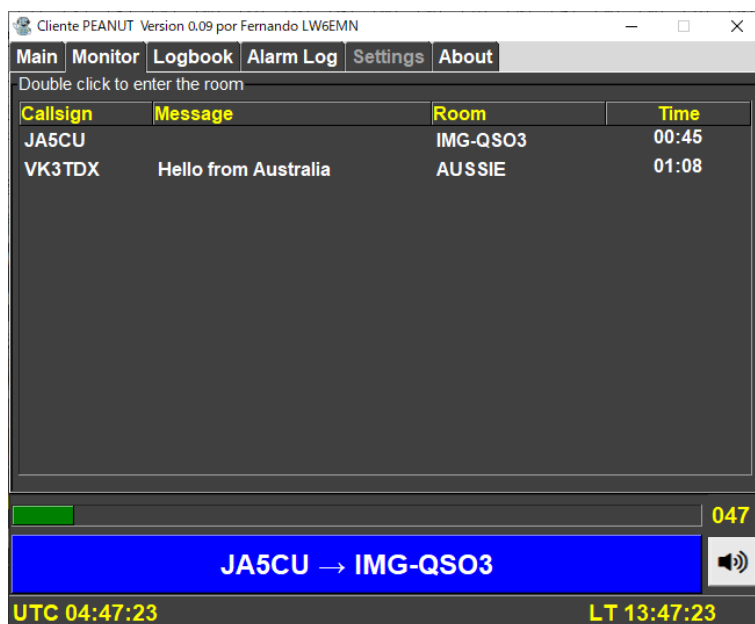


図 4-1

※1 → 「Main」 タグをクリック → 画面には送信局のコールサイン（黄色）が大きく表示されている（図 4-2） → ※2



図 4-2

※2 → コールサインをクリック → 「Add to Logbook」の画面（図 4-3）がポップアップ → 「Band」、「Frequency」、「Comment」を入力 → 「Accept」ボタンをクリック → 「Do you confirm to save the data」とのコメント画面がポップアップ → 「はい」ボタンをクリック → ※3

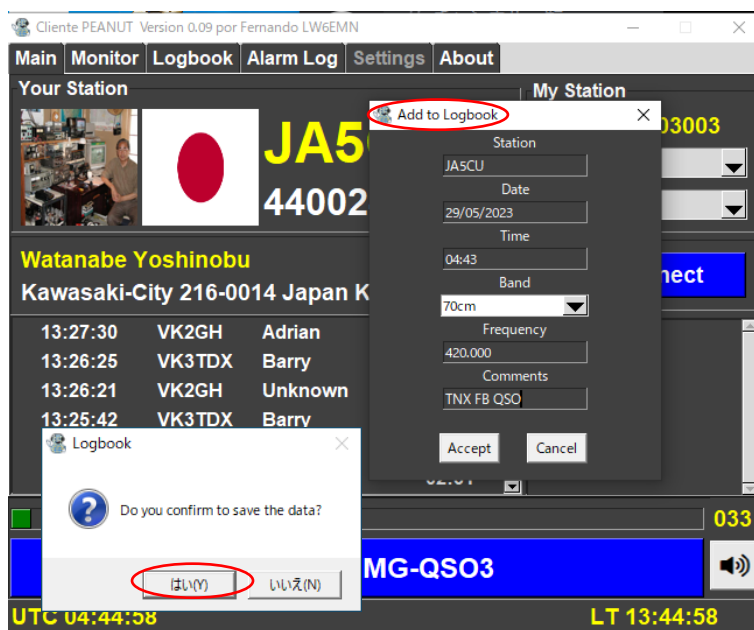


図 4-3

※3 → Logbook タグを選択（図 4-4） → データが記録されている

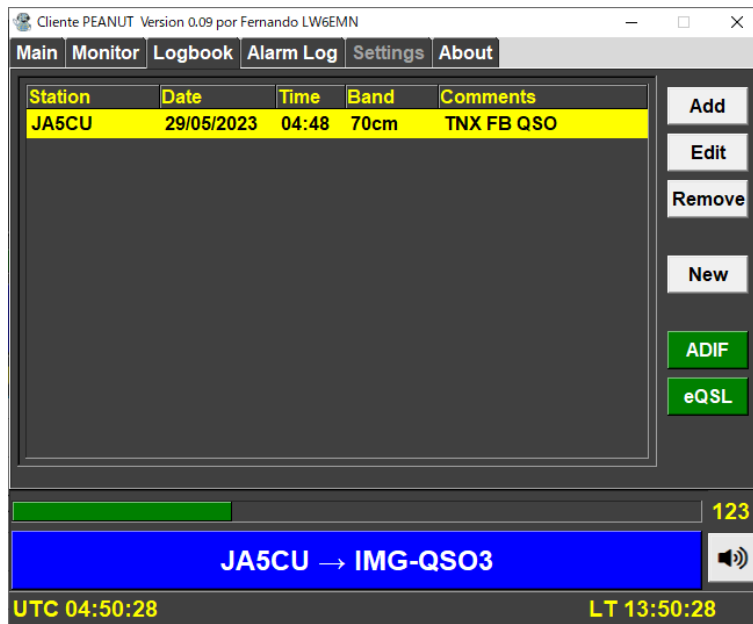


図 4-4

Add = 手入力

Edit = 編集

Remove = 削除

New = 良く分からない。

ADIF = Amateur Data Interchange Format ファイルの略でアマチュア無線の交信記録データを異なったソフトウェア間でやりとりする時に使用する統一データフォーマットファイルのことらしい。

eQSL = eQSL に Logbook にあるデータを送って QSL カードが発行できるらしい。

5. 音声の送信

PPT を使った送信

ルームを決める → マウスで図 3-2 の PPT スイッチ (コールサイン入りの白いバー) を On にするか Ctrl スキーを押して PPT スイッチを On にする → マイクに向かって話す。(設定で Key Ctrl PTT にチェックマークを付けたので Ctrl スキーが PTT スイッチになる。)

VOX を使った送信

オリジナル Peanut の VOX 機能は画像通信愛好家のリクエストで誕生したものであが、Client Peanut も VOX 機能を踏襲しているようである (但し、設定方法は異なる)。

設定は、「Setting」タグを選択 → 更に「RXCtrl」タグを選択 → ※

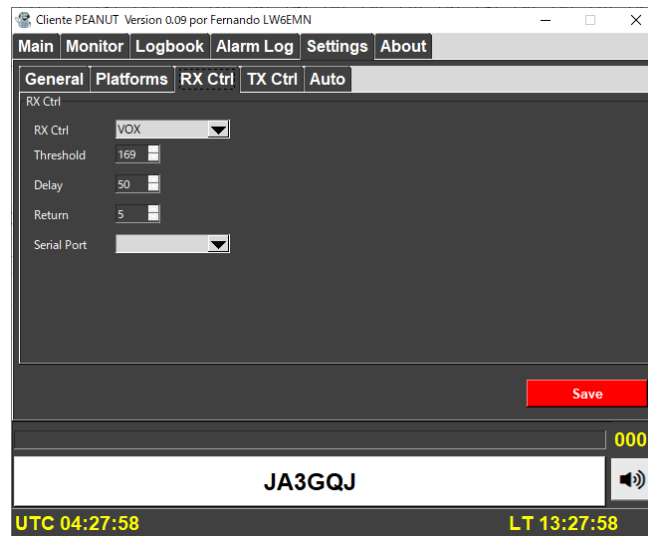


図 5 - 1

※ → RXCtrlを VOX にする → Threshold, Delay, Return の値を調整して最適値を見つける。

VOX の取り扱いを間違えると他のユーザーに迷惑をかける場合があるので調整、取り扱いは注意が必要だ。

6.画像の受信

図 6- 1 は Client Peanut と Image Controller Easy Simple を使用して JTDX の FT8 で画像通信をするイメージである。JTDX を Vari Image Front、MMSSTV・YONIQ、JS8CALL、EZ Pix に置き換えて見る事で Client Peanut が音声に限らず多様な画像通信ソフトに対応しているところに魅力を感じる。尚、図にある Digi-Site は Image Controller Easy Simple から受信画像をアップロードして一般に公開するソフトである。

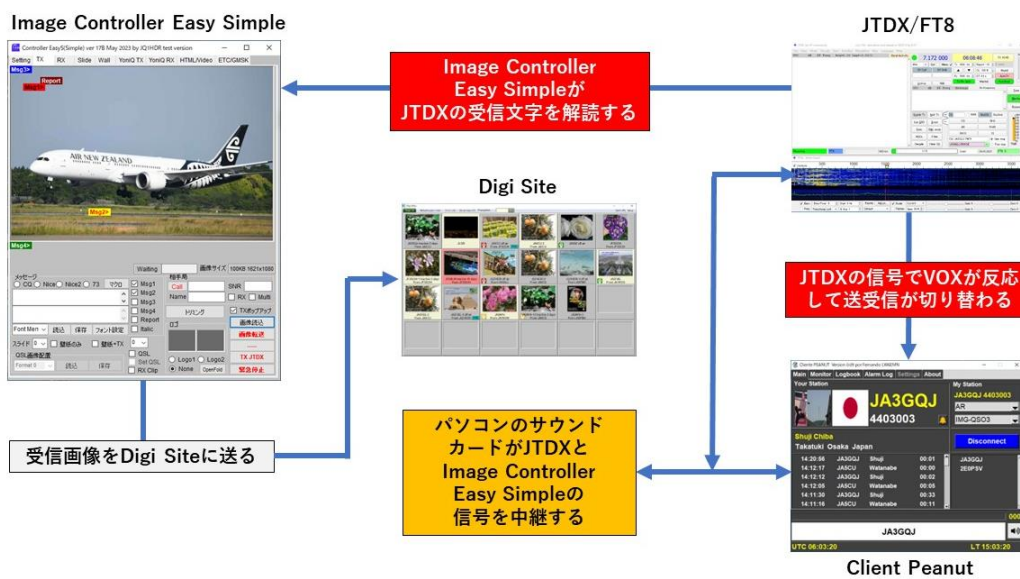


図 6-1

尚、EZ Pix、MMSSTV・YONIQ は単独で Client Peanut と組み合わせて運用できるが、他のソフトは Controller Easy Simple との組み合わせ運用が必須である。

画像信号のサウンドカード入出力処理

Client Peanut による画像通信は Client Peanut と画像通信ソフトがパソコンのサウンドカードを共有して動作する事、画像信号と音声信号を同時に送信しても問題がない等、トランシーバによるオンエア運用と異なるところに大きな特徴がある。

図 6-2 は画像信号のサウンドカード入出力処理回路のイメージである。画像信号のモードによってハード的な切り替えスイッチがなくても、スピーカーにマイクロホン近づけて画像の送受信が出来る場合があるが、安定した画像信号の送受信にはサウンドカードのマイク入力回路とスピーカー出力回路を電氣的に直結したほうが良い結果を得る事が出来た。

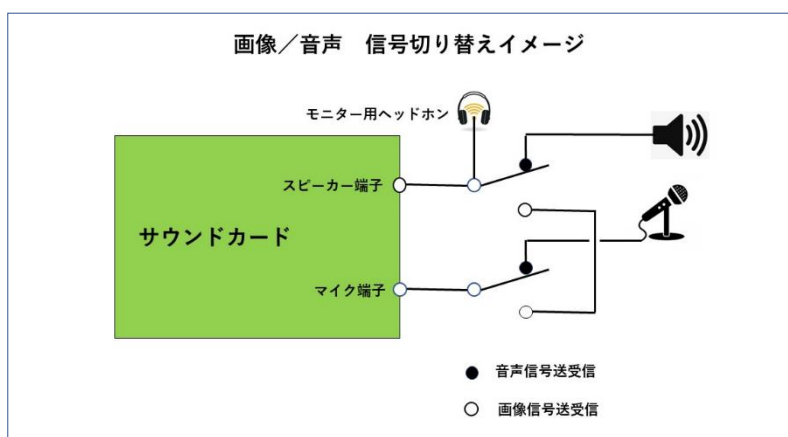


図 6-2

Image Controller Easy Simple と組み合わせた画像の受信

使用するソフトに対応した Client Peanut のルームを決める → ソフトの起動 → 音声信号の代わりに画像信号を待ち受ける → 受信画像は Image Controller Easy Simple の RX タグの画面に表示され、Digi-Site にもアップロードされる。

EZPix 単独での画像の受信

Client Peanut のルーム IMG-QSO2 を選択 → EZPix を起動 → 画像信号を待ち受ける → 受信音が鳴る → 受信画像が「受信」タグの画面に表示され、Digi-Site にもアップロードされる。EZPix の詳細は別冊「EZPix 使用体験記」にまとめた。

MMSSTV・YONIQ 単独での画像の受信

Client Peanut のルーム IMG-QSO3 を選択 → MMSSTV・YONIQ を起動 → 画像信号を待ち受ける → RX タグの画面で受信画像のスキャンが始まる → RX タグの画面に受信画像の全貌が表示される → 受信終了。 Digi-Site には画像はアップロードされない。MMSSTV・YONIQ の詳細はインターネットなどの記事を参照。

7.画像の送信

7-1 Controller Easy Simple と各ソフトを組み合わせた画像の送信

次の 7-1-1 から 7-1-4 項はすべて Client Peanut の PTT を使って送信する。また、送信レベルの調整は 5 ページの 3 項「サウンドカードの調整」で終わっているものとする。

7-1-1 Vari Image Front (モードは GMSK か msfk-U) との組み合わせ

このモードはマイク回路、とスピーカー回路を直結したほうが良い。

Vari image Front のモードに対応したルームを選択 → Image Controller Easy Simple と Vari Image Front を起動 → Image Controller Easy Simple の「TX」タグを選択 → 「画像読込」ボタンをクリック → 開いた画像保存ホルダーの送信対象画像をダブルクリック → 画像が「TX」タグの画面に貼りつく → マクロを使って画像に文字を入れる → 「画像転送」ボタンをクリック → 送信画像が拡大表示されて画像がサーバーに転送されたことを示す → Client Peanut の PTT オン → Vari Image Front のモードに対応したファンクションキーをクリック → 送信開始 → 自動的に送信終了 → Image Controller Easy Simple の「On Air & Rx List」に受信局のリストが表示される → Client Peanut の PTT オフ → 受信スタンバイ

7-1-2 JTDX (モード FT8) との組み合わせ

このモードはマイク回路とスピーカー回路の直結不要

Client Peanut のルーム IMG-QSO1 を選択 → Controller Easy Simple と JTDX を起動 → Controller Easy Simple の「TX」タグを選択 → 「画像読込」ボタンをクリック → 開いた画像保存ホルダーの送信対象画像をダブルクリック → 画像が「TX」タグの画面に貼りつく → マクロを使って画像に文字を入れる → 「画像転送」ボタンをクリック → 送信画像が拡大表示されて画像がサーバーに転送されたことを示す → Peanut の PTT オン → JTDX の「Enable Tx」ボタンをクリック → 送信開始 → 自動的に送信終了 → Controller Easy Simple の「On Air & Rx List」に受信局のコールサインが表示される → Client Peanut の PTT オフ → 受信スタンバイ

7-1-3 MMSSTV・YONIQ との組み合わせ

このモードはマイク回路とスピーカー回路を直結したほうが良い。

Client Peanut のルーム IMG-QSO3 を選択 → Image Controller Easy Simple と MMSSTV・TONIQ を起動 → Controller Easy Simple の「Yoniq Tx」タグを選択 → 「画像読込」ボタンをクリック → 開いた画像保存フォルダーの送信対象画像をダブルクリック → 画像が「Yoniq Tx」タグの画面に貼りつく → マクロを使って画像に文字を入れる → 「画像作成」をクリック → 「to Yoniq」をクリック → 画像が MMSSTV・YONIQ の TX タグの画面に貼りつく → Client Peanut の PTT オン → MMSSTV・YONIQ の「TX」ボタンをクリック → 送信開始 → モードに応じた時間で送信終了 → 受信スタンバイ。

7-1-4 EZPix (モード GMSK) 単独の画像の送信

このモードはマイク回路とスピーカー回路の直結不要

Client Peanut のルーム IMG-QSO2 を選択 → EZPix を起動 → EZPix の「画像読み込み」ボタンをクリック画像保存フォルダーが開く → 送信したい画像をダブルクリック → EZPix の「送信」タグに画像が貼りつく → Client Peanut の PTT オン → EZPix の「送信」ボタンをクリック → 送信開始 → 約6秒で送信終了 → Client Peanut の PTT オフ。EZPix の「RxOK」枠に受信局コールサインのリストが表示される。

8. VOX 機能を使った画像送信

Client Peanut の VOX の調整が終わっていれば各ソフトの送信ボタンをクリックするだけで送信出来る。

As of June 8, 2023

APPENDIX 1

ソフトのインストールと初期設定

Client Peanut はソフトインストールが終わると引き続いて初期設定をするようにできているが Cord と称して 5桁の番号を取得しなければ使えないので「鶏が先か卵が先か」ではないかあらかじめ「コードの取得」を参考にして 5桁の番号を入手しておくほうが良いかもしれない。

ソフトのインストール

Client Peanut のソフトは https://lw6emn.ar/software/version_international/ のページを開いてインストールする。ファイルが zip 形式なので解凍ソフト「Lhasa.exe」を事前にインストールした。Lhasa.exe のダウンロードはインターネット検索。

ページ (図 1) が開いたら Instalador-V.09-WIN7-WIN10-WIN11.zip をクリック → 右上に小さな画面 (図 2) が表示される → ※1

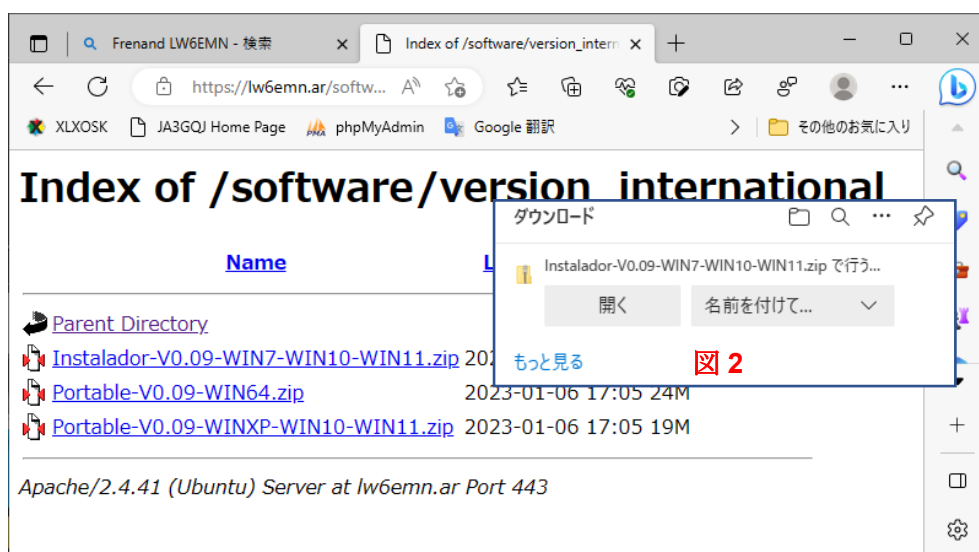


図 1

※1 → 「開く」ボタンをクリック → プログレスバー (図 3) が右端に行く → 画面が変わる (図 4) → ※2

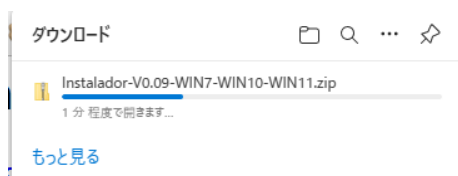


図 3

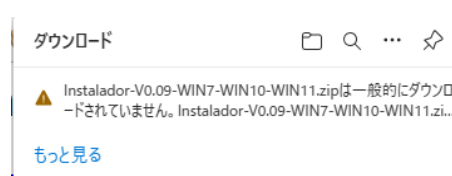


図 4

※2 → 図 4 の文字の上にマウスのポインターを置く → 文字の右にゴミ箱と

「・・・」のアイコンが表示される (図5) → 「・・・」をクリック → その下に新しい画面が表示される (図6) → 「保存」をクリック → ※3

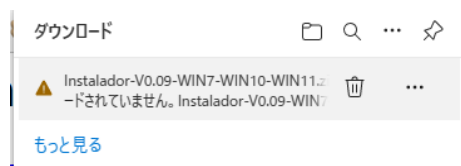


図5



図6

※3 → 画面が変わる (図7) → 「詳細表示」をクリック → → 画面が変わる (図8) → 「保持する」をクリック → ※4



図7



図8

※4 → 画面が変わる (図9) → ※5

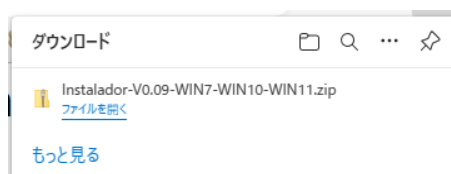


図9

※5 → ダウンロードされた「Instalador-V0.09-WIN7-WIN10-WIN11.exe」のあるフォルダーが開く (図10) → ※6

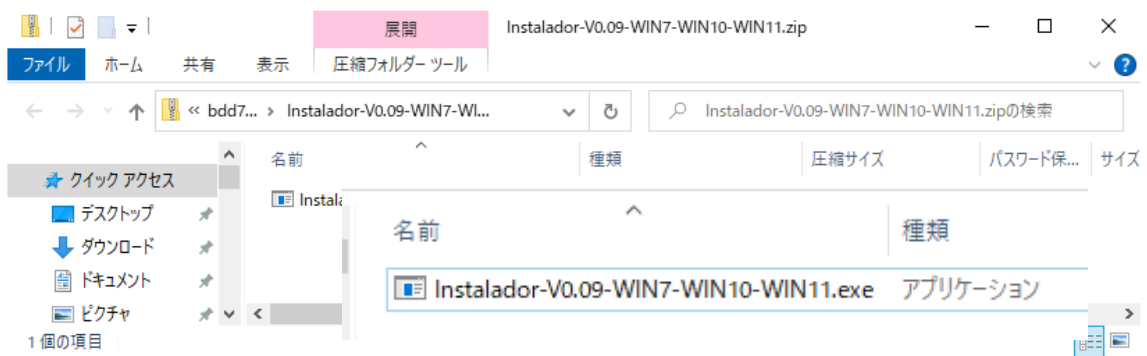


図 10

※6 → 「Instalador-V0.09-WIN7-WIN10-WIN11.exe」を実行する → 図 11 の画面が表示される → 「詳細情報」をクリック → 図 12 の画面に変わる → 「実行」をクリック → ※7



図 11



図 12

※7 → 「ユーザーアカウント制御」画面・図 13 が表示される → 「はい」をクリック → ※8

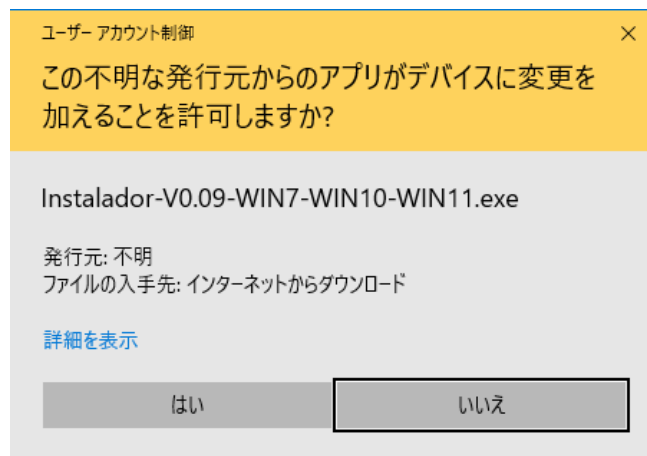


図 13

※8 → 図 14 が表示される → Espanol はスペイン語らしいので → 英語表示に変える (図 15) → 「Aceptar」をクリック → ※9

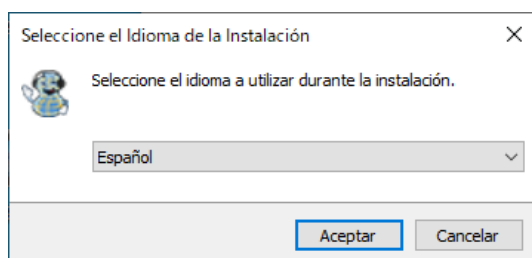


図 14

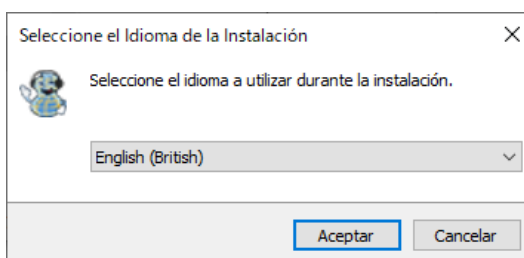


図 15

※9 → 以後表示が英文に変わる (図 16) → 「C:\clientepeanut」がソフトのインストール先 → 「Next」をクリック → 以下、図 17 から図 20 の手順でインストールを完成する → ※10

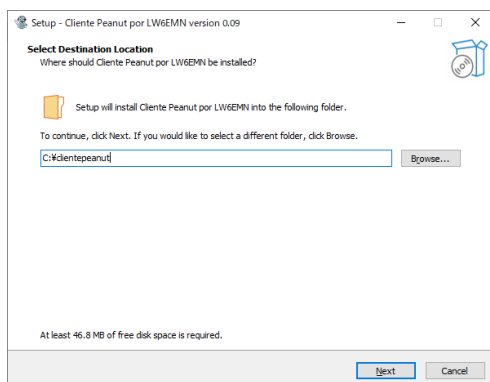


図 16

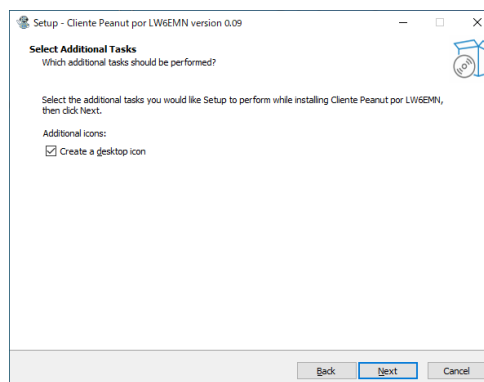


図 17

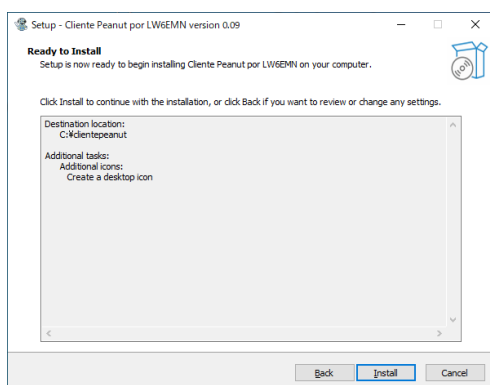


図 18

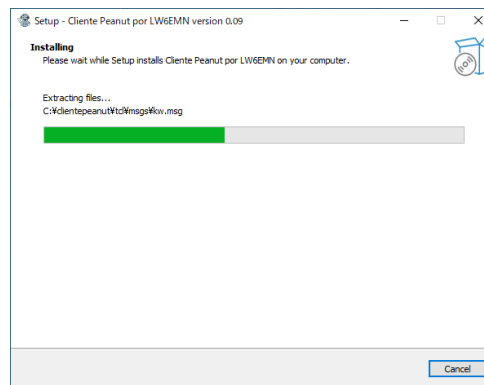


図 19

※10 → 図 20 で Launch Client Peanut por LW6EMN にチェックマーク → クリック 「Finish」 → インストール完了 → Client Peanut 初期画面 (図 21) 立ち上がる → 初期設定をする → ※11

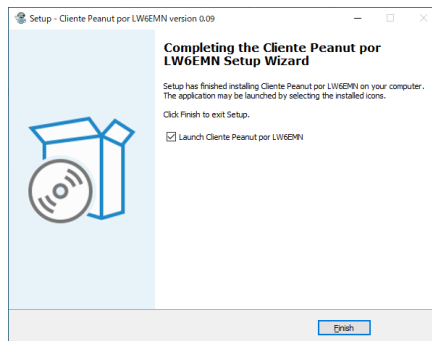


図 20

ソフトの初期設定

※11 → 「Configuracion」 タグを選択 (図 21) → ※12



図 21

※12 → 「General」 タグでデータを入力 (図 22) → ※13

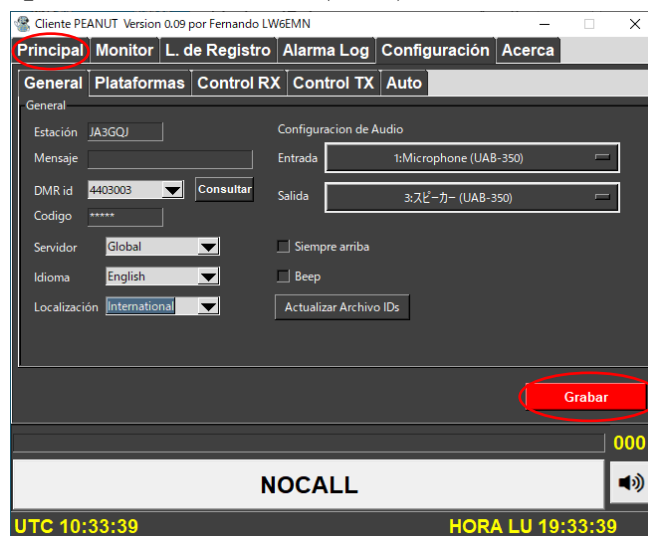


図 22

General フレーム (枠)

Station = コールサインを入力

Message = ブランクでもよい

DMR id = 無くてもよい

Code = コードの取得を参照して入手した5桁のコードを入力する。(必須)

コードの取得

<https://register.peanut.network/> のページを開く → ページを右クリックして日本語表示に変える (図 23) → 必要事項を記入して行く → コールサインを入力しようとすると → 英文のコメントが出る (図 24) → JA 向けのコード番号は JA の窓口に局免のコピーを付けてメールをする → 後日、5桁のコードがメールで送られてくる

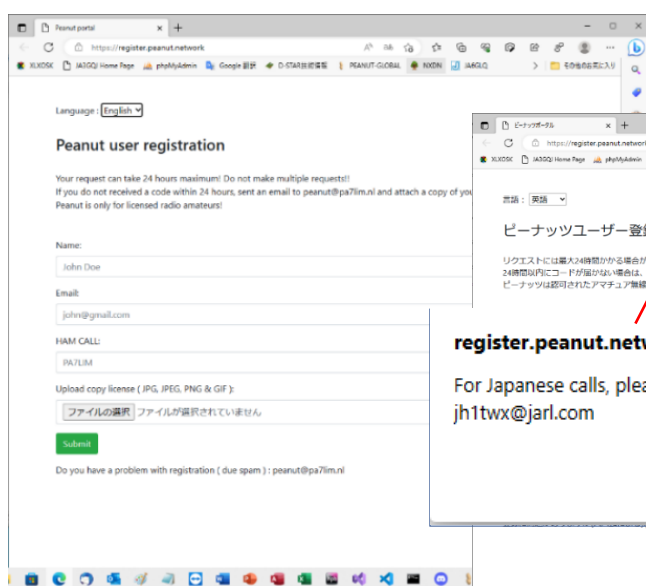


図 23

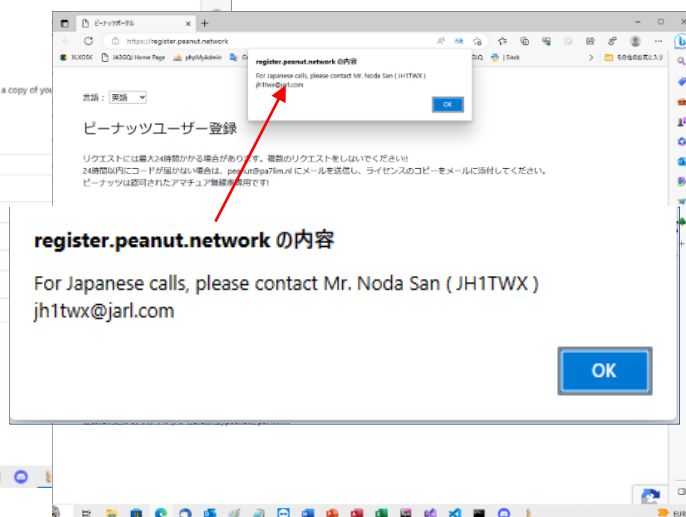


図 24

Server = Global

Language = English

Location = International

Audio setting フレーム (枠)

Input = パソコンで使用しているサウンドデバイスのマイクロホンを選択する

Output = パソコンで使用しているサウンドデバイスのスピーカを選択する

※13 → プログラムを再起動してください。」という意味合いの赤文字のコメント（図25）が出て消える → ※14



図 24

※14 → コメントが消えて自局のコールサインが表示されている画面（図26）で「X」をクリックして一旦閉じる → ※15



図 26

※15 → デスクトップ アイコンをクリックして再起動 → ※16

※16 → 文字が英語表示に変わり、PTT スイッチのバーにもコールサインが表示されている (図 27) → ※17



図 27

※17 → 「Setting」 タグをクリック → 「General」 タグが選ばれて、先ほど入力したデータが表示されている → ※18



図 28

※18 → 「Platforms」 タグをクリック → eQSL 関係のデータ入力画面が開く (図 29) → ここは空白 → ※19

本来は User、Password、QTH name など eQSL account のアカウントに関するデータを入れる

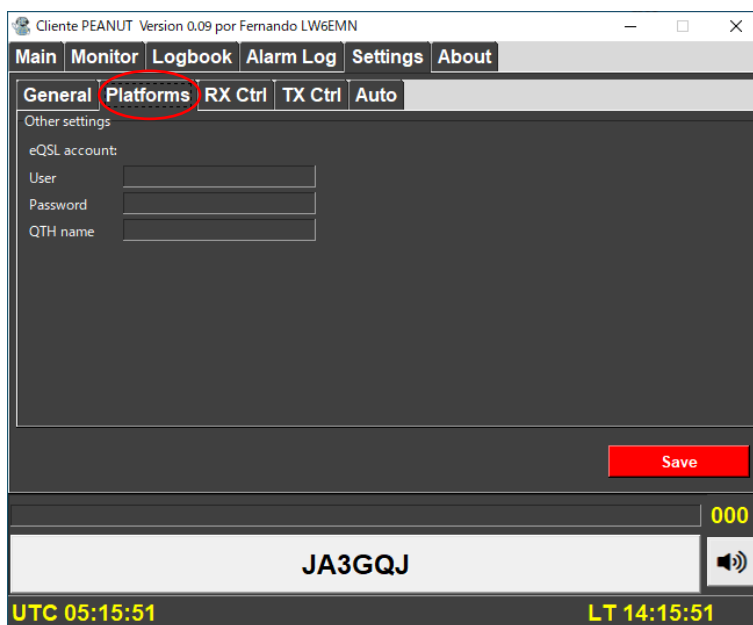


図 29

※19 → 「RX Ctrl」 タグをクリック → 画面が開く (図 30) → ここは何もしない
→ ※20

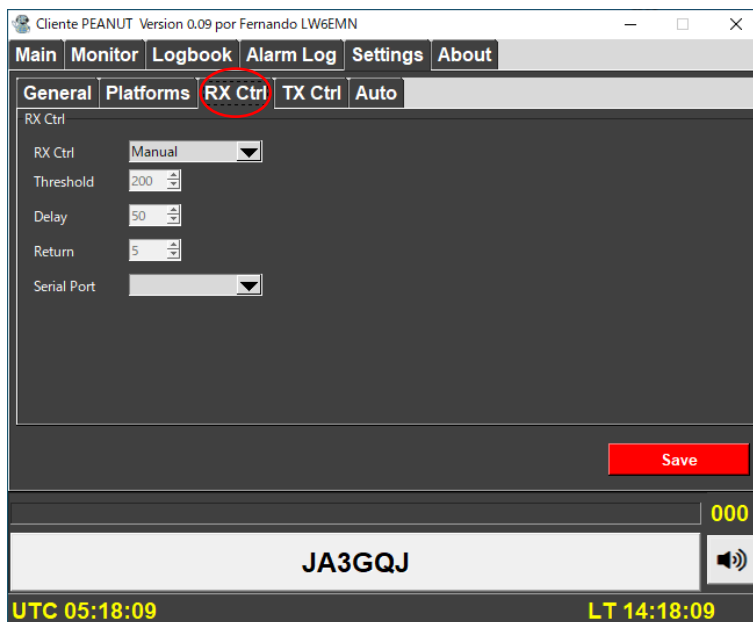


図 30

RX Ctrl = Manual (VOX を選択する事も出来る)

Threshold = RX Ctrl で VOX を選択した時、カットアンドトライで最適値を選ぶ

Delay = RX Ctrl で VOX を選択した時、カットアンドトライで最適値を選ぶ
Return = RX Ctrl で VOX を選択した時、カットアンドトライで最適値を選ぶ
Serial Port = 使わない

※20 → 「TX Ctrl」 タグをクリック → 画面が開く (図 31) → ※21

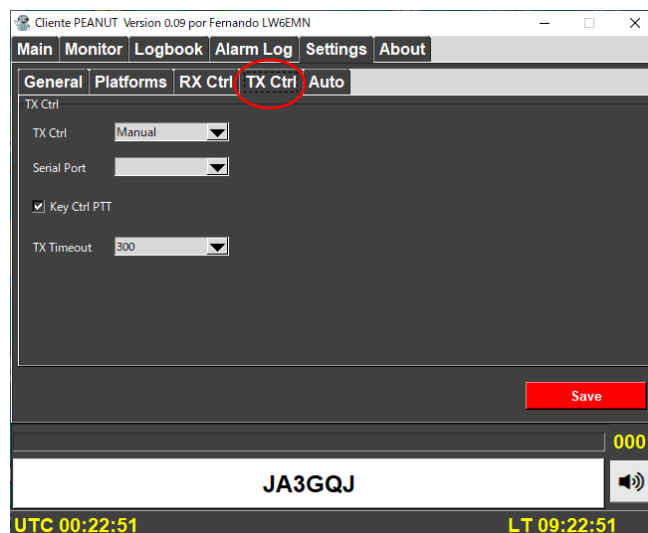


図 31

TX Ctrl = Manual

Serial port = 使わない

Key Ctrl PTT = チェックマークを入れてコントロールキーを PTT スイッチにする。

TX Timeout = 300 (5分) (画像通信によい時間である)

※21 → 「Auto」 タグをクリック → 画面が開く (図 32) → データを入力 → 「Save」 ボタンをクリック → ※22

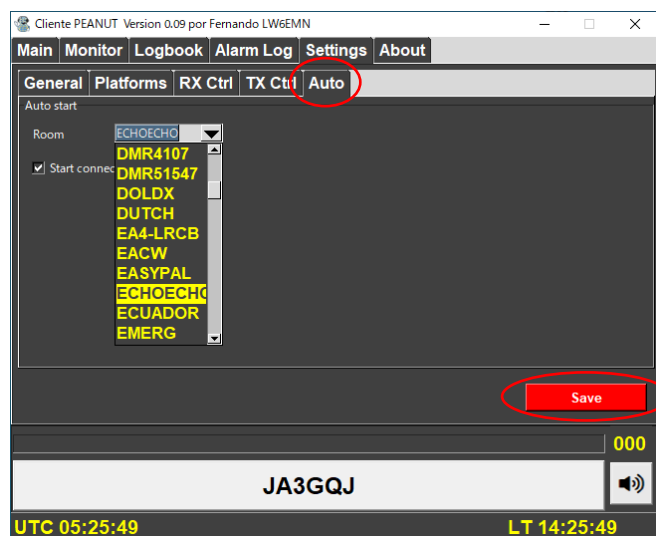


図 32

Room = プルダウンメニューで「ECHOECO」を選択

Start connected = チェックマークを入れる

※22 → 設定完了 → しばらくしたら自動的に「ECHOECO」に接続して Client Peanut が稼働している状態になる。(図 33)



図 33

以上で Client Peanut のダウンロード、インストール、初期設定作業はすべて終わる。
引き続き操作をする場合は本文を参照。休憩する場合は「X」をクリックして画面を閉じる。

APPENDIX2 サウンドカードの調整

始めに Window10 のサウンドデバイスの確認をする。

デスクトップの右下のスピーカーアイコン (図 S-1) を右クリック → ※1

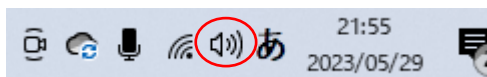


図 S-1

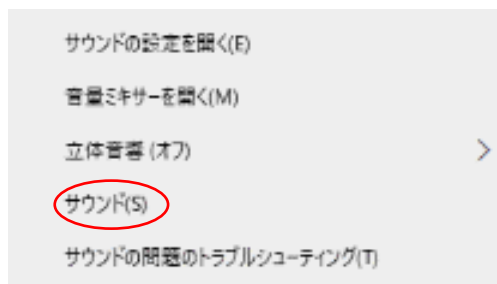


図 S-2

※1 → ポップアップする画面 (図 S-2) の「サウンド(S)」をクリック → 次の画面 (図 S-3) が表示される → 「録音」タグを選択 → マイクデバイスが表示される (図 S-4) → チェックマークが入ったマイクアイコンが現在使用中のデバイスである → アイコンを右クリック → ポップアップ画面の「プロパティ」を選択 (図 S-5) → マイクのプロパティ画面 (図 S-6) がポップアップ → 画面の「レベル」タグを選択 → スライダーでレベルを調節する (図 S-7) → 「OK」ボタンで元に戻る → ※2

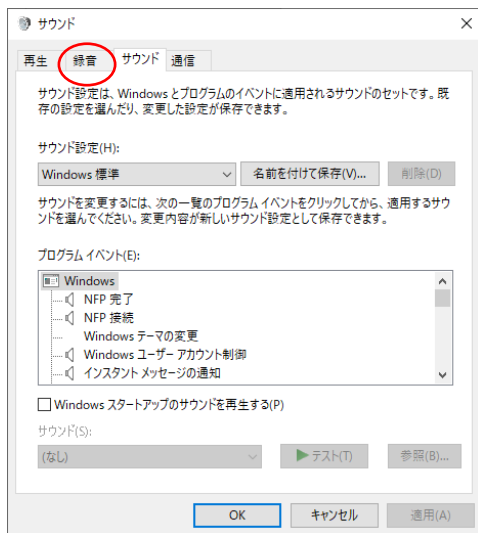


図 S-3



図 S-4



図 S-5



図 S-6

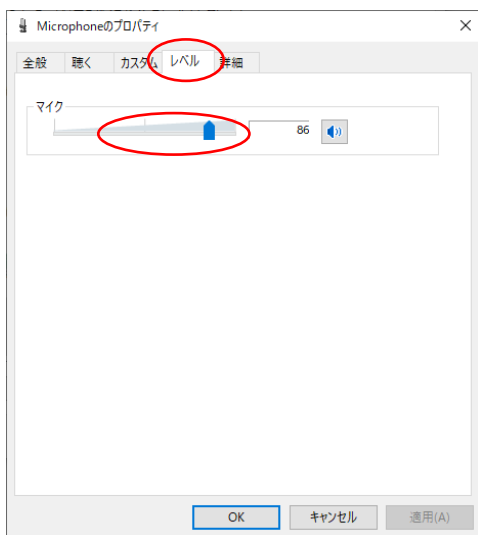


図 S-7

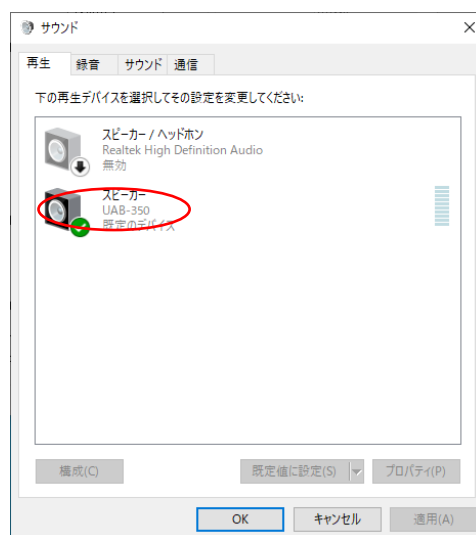


図 S-8

※2 → 「再生」タグを選択 → スピーカデバイスが表示される (図 S-8) →
 チェックマークが入ったスピーカアイコンが現在使用中のデバイスである → アイ
 コンを右クリック → ポップアップ画面の「プロパティ(P)」をクリック (図 S-9) →
 「スピーカのプロパティ」画面がポップアップ (図 S-10) → 「スピーカのプロパテ
 ィ」画面の「レベル」タグを選択 (図 S-11) が開く → スライダーでレベル (音量)
 を調節する → 「OK」ボタンで図 S-3 の画面に戻る → 「OK」ボタンでサウンドデ
 バイスの確認終了 → ※3



図 S-9



図 S-10

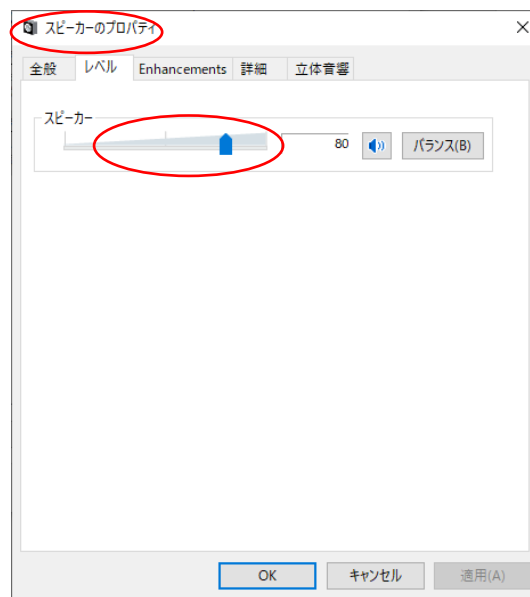


図 S-11

尚、スピーカーのレベル（音量）だけであればデスクトップ右下のスピーカーアイコンを左クリックしてポップアップするスライダー（図 S-11）で調節できる。

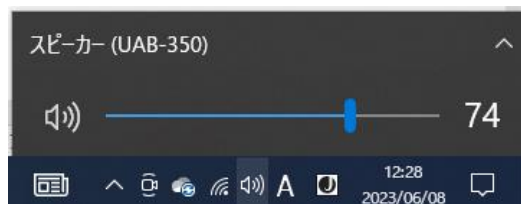
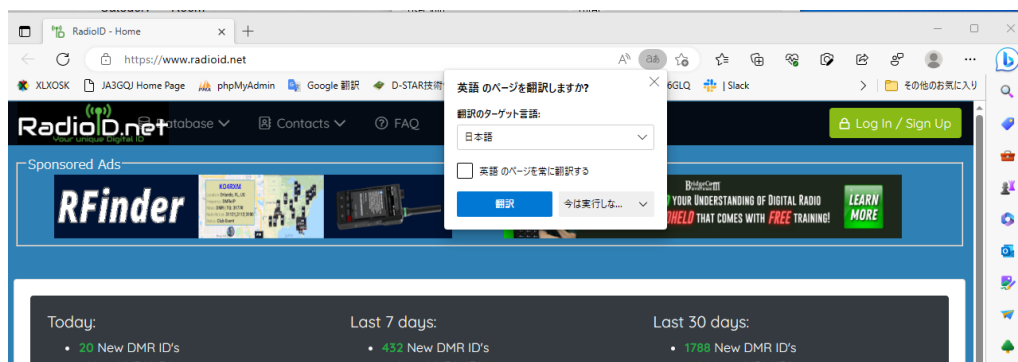
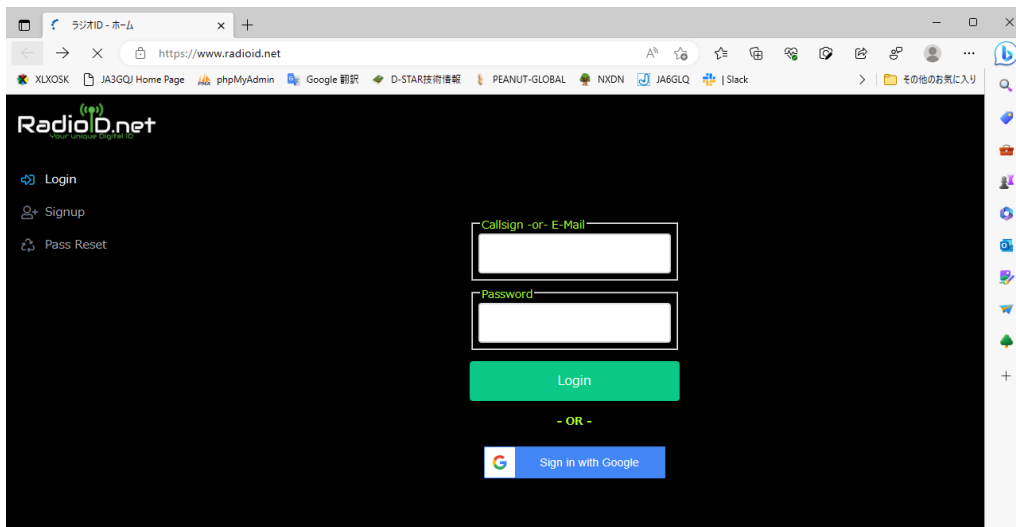


図 S-11

APPENDIX3 DMR id の取得

取得（登録）方法が以前と変わっているので、「こうしたら」取得出来ると思われる手順を Peanut の設定画面の右下にある「DMR Registration」をクリックして開いた画面以降画面の指示に従って開いていく画面のスクリーンショットを記録する。





ラジオID - 登録

https://radioid.net/account/register

XLXOSK JA3GQJ Home Page phpMyAdmin Google 翻訳 D-STAR技術情報 PEANUT-GLOBAL NXDN JA6GLQ Slack

RadioID.net データベース 連絡先 FAQ 店舗 支える ログイン / サインアップ

意します。

(a) 登録のために、あなたが誰であるかを確認するためにより多くの情報が必要になる場合があります。

リピーター / NXDN / キャパシティプラス登録(b)

- DMR **リピーターID**、**NXDN ID**、**キャッププラスID**はすべて、アカウント登録後に利用可能になります。(イ)
- 新しいアカウントを作成したり、リピーターを別のアカウントとして登録したりする必要はなく、コールサインでプライマリアカウントを作成するだけです。
- アマチュア無線ライセンスのコピーをアップロードしてから、サポートに連絡して、リピーター / NXDN / Cap-Plusの割り当てを依頼してください。(イ)
- CAP-PLUS**は供給が非常に限られているため、私たちがそれを提供するにはかなりの理由が必要です。必要な場合は、サポートにお問い合わせください。(イ)

(b) キャパシティプラスIDはブランドマイスターのシステムでは動作しません。

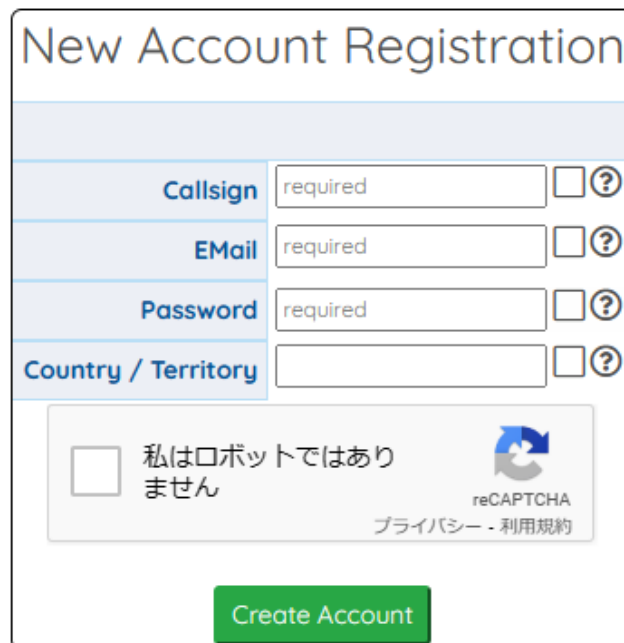
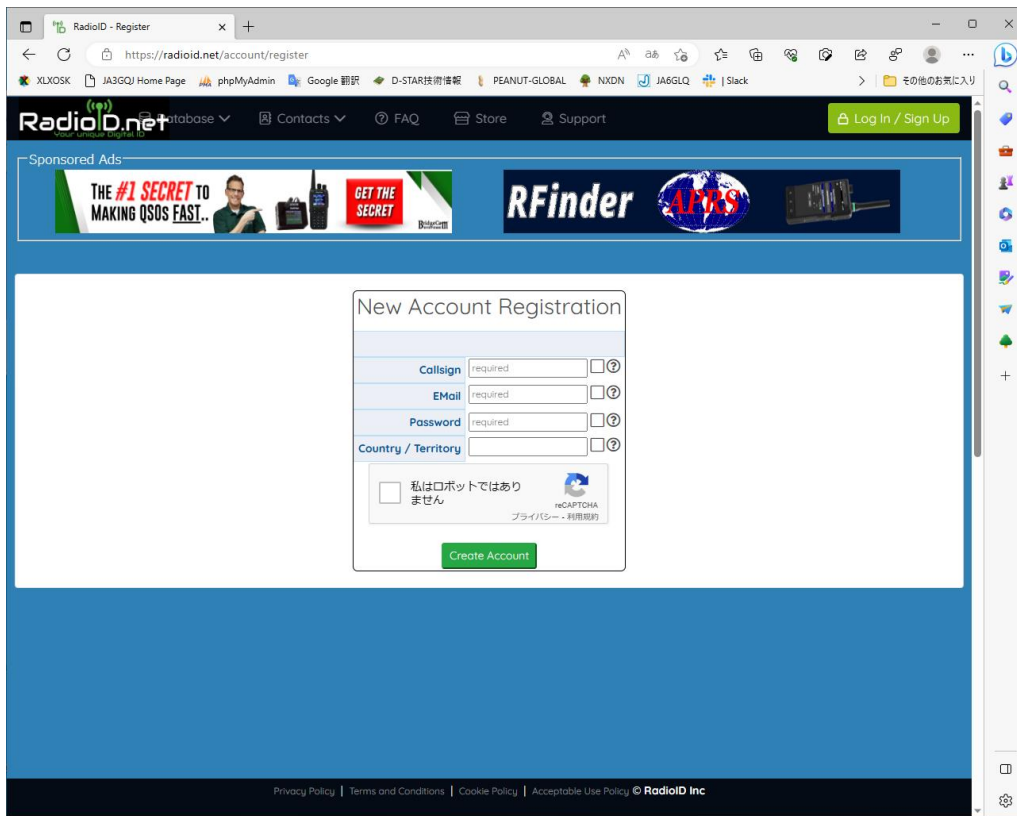
私はそうしません。。。 (以下を注意深く読んでください、失敗するとアカウントが削除される可能性があります! および/または生涯禁止!)

- (アカウント / DMR ID)を持っていると思っていても、すでに持っている場合は、新しいコールサインを登録します。 - よくある質問を見る
- 自分のアカウントでリピーターを登録します。 - よくある質問を見る
- 私が政府発行のアマチュア無線コールサインを持つ認可されたアマチュア無線家でない限り、このサイトに登録してください。

私 あなたがそれを読んだかどうかにかかわらず、上記のすべてに同意してください!

アカウント登録

プライバシーポリシー | 規約と条件 | クッキーポリシー | 利用規定 © 株式会社ラジオID



Email Verification Required

Please check your E-Mail to confirm you address, Once confirmed please return to this page.

OK



We have received a request to authorize this email address for use with an account on Radioid.net. If you requested this verification please click the verify link below.

[Verify E-Mail Address](#)

[Privacy Policy](#) | [Terms and Conditions](#) | [Acceptable Use Policy](#)

©Radioid.inc

Thank You

Verification is complete, please return to radioid.net to continue.
You will now be able to complete the next step.

New Account Registration

Callsign	<input type="text" value="JO3KLS"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	?
E-Mail	<input type="text" value="sssc@nifty.com"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	?
Password	<input type="password" value="XXXXXXXXXX"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	?
Country / Territory	<input type="text" value="Japan"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	?

私はロボットではありません

reCAPTCHA
プライバシー - 利用規約

[Create Account](#)

ラジオID - タッチボード

https://radioid.net/account/profile

RadioID.net データベース

保留中のライセンスのアップロード

アカウントが承認されると、メールで連絡があります。
メールが正しく、RadioID.net ホワイトリストに登録されていることを確認する **スパム!**

アカウント完了までの3つのステッププロセス:

- (1) 個人情報が正しいことを確認する 詳細は以下、おそらくQRZ / FCCレコードからインポートされました
- (2) 登録・認証には正しい情報が必要です / ライセンスのアップロード。承認後、お客様はご自身のデータを管理することができます。
- (3) 下にスクロールして**ライセンスドキュメント**をアップロードします。(赤い線が残っていない後)
(*) **ライセンスのアップロード後に個人データ/ライセンスが確認されるまで、IDは割り当てられません。**
(*)このページに戻る必要がある場合は、**[サインイン]** ボタンを使用します。 **再登録!**

アカウントプロフィール	
国	日本
コールサイン	JO3KLS
名前	<input type="text" value="Shuji"/>
名字	<input type="text" value="Chiba"/>
郵便市	<input type="text" value="Takatsuki City Osaka"/>
州/州	<input type="text" value="福岡"/>

プライバシーポリシー | 規約と条件 | クッキーポリシー | 利用規定 © 株式会社ラジオID

ラジオID - タッシュボード

https://radioid.net/account/profile

RadioID.net データベース 連絡先 FAQ 店舗 支える JO3KLS

アカウントプロフィール

国: 日本

コールサイン: JO3KLS

名前: Shuji

名字: Chiba

郵便市: Takatsuki City Osaka

州/州: 府一ツ

アドレス: jo3kls@nifty.com

アマチュアライセンスの有効期限 (YYYY-MM-DD): 2028-05-11

コミュニケーション言語 (ベータ版): 英語

ラジオID DMRニュースの最新情報を入手してください

スポンサーが私に連絡することを許可します(あなたのメールは共有されません)

他のメンバーからのバディメールを許可します(あなたのメールは共有されません)

セーブ

アカウントの完了に必要なライセンスのアップロード

* アップロードがサンプルと異なる場合 以下、または上記のようにあなたの名前/コールサインが含まれていない、それは拒否されます!
* アップロードされた画像には、RADIOID.NET でのみ使用するために透かしが入ります

ファイルの選択 ファイルが選択されていません アップロード

ライセンスアップロード承認されたファイル(pdf, jpg, jpeg, png, zip 最初の3ページ)

コールサインがはっきりと見える元の政府文書が必要です。
これは、あなたがライセンス所有者であることを確認する唯一の方法です。

プライバシーポリシー | 規約と条件 | クッキーポリシー | 利用規定 © 株式会社ラジオID

ラジオID - タッシュボード

https://radioid.net/account/profile

RadioID.net データベース 連絡先 FAQ 店舗 支える JO3KLS

* アップロードがサンプルと異なる場合 以下、または上記のようにあなたの名前/コールサインが含まれていない、それは拒否されます!
* アップロードされた画像には、RADIOID.NET でのみ使用するために透かしが入ります

ファイルの選択 ファイルが選択されていません アップロード

ライセンスアップロード承認されたファイル(pdf, jpg, jpeg, png, zip 最初の3ページ)

コールサインがはっきりと見える元の政府文書が必要です。
これは、あなたがライセンス所有者であることを確認する唯一の方法です。

無線局免許状
LICENCE OF AMATEUR STATION

免許人の氏名又は名称 LICENSEE	Name		
免許人の住所 ADDRESS OF THE LICENSEE	Address		
無線局の種別 CATEGORY	アマチュア局 AMATEUR STATION	免許の番号 NO.	Lic No.
免許の年月日 DATE OF THE LICENSE	令 3.11.26 26 Nov. 2021	免許の有効期間 DATE OF EXPIRATION	Expires DD MM YYYY
無線局の目的 TO BE CONDUCTED	アマチュア業務用 AMATEUR SERVICE	運用許容時間 PERMITTED OPERATING HOURS	常時 ALL THE TIME
通信事項 MATTERS TO BE TRANSMITTED	アマチュア業務に関する事項 MATTERS CONCERNING AMATEUR SERVICE		
通信の相手方 RADIO STATIONS	アマチュア局 OTHER AMATEUR STATIONS		

プライバシーポリシー | 規約と条件 | クッキーポリシー | 利用規定 © 株式会社ラジオID

